

見た目と味のギャップを感じて！「はるか」



1. 果実の出荷時期と特長

出荷時期	2月中旬から3月下旬まで
特長	黄色い外観から想像しがちな酸味はほとんど感じられず、その一方でまろやかな甘味があり、見た目と味のギャップを最も感じる柑橘のひとつです。
備考	「不知火」は頭の部分に突起ができますが、はるかはお尻の部分に丸いくぼみ（凹環）ができます。愛媛県は日本一の「はるか」の産地です（平成20年産）。

2. 果実の食べやすさ

果皮	1：手で簡単にむけます。 2：手でむけますが、ややむきにくいこともあります。 ③：手でむくのが大変です。ナイフなどをご利用下さい。
袋	1：薄く、食べてもほとんど気になりません。 2：やや薄く、袋ごと食べることができます。 ③：厚く、口に残ります。袋をむいてお召し上がり下さい。
種	1：ありません（まれに少量あることもあります）。 ②：あります。

3. 来歴

1980年頃に福岡県二丈町（現：糸島市）の石井徳雄氏が自宅の庭に捨てた「日向夏」種子から発生した偶発実生であり、1996年10月に種苗法の登録を受けました。

※祖父母世代不明のため、3世代系譜図は省略